

## 中国近世語 分類語彙表 作成構想 (I)

植田 均  
Hitoshi Ueda

### 0. はじめに

悠久の歴史を有する中国の文化遺産には、夥しい分量の言語資料が存在する。近世語資料に限定しても同様である。我々は、このような膨大な分量にのぼる中国近世語資料の中で、分類語彙表の作成を試みようとするものである。

なぜ、中国近世語資料の分類語彙表が必要なのか。これまでも清末文学言語研究会を中心として<<水滸傳>>、<<紅樓夢>>、<<兒女英雄傳>>など各白話資料の語彙索引は編纂されてきた。<sup>1)</sup> これらに啓発され、筆者も<<初刻拍案驚奇>>や<<醒世姻縁傳>>などの語彙索引編纂を試みたことがある。<sup>2)</sup> しかしながら、いずれも運用面を含めた語彙の全面的、網羅的なものではなかった。<sup>3)</sup> 運用面をも考慮に入れた全面的、網羅的な手法を用いては如何だろうか。中国近世語を研究してゆく上で（個々の重要と思われる語彙を取り上げて論文にまとめる作業も必要ではあるが）現在「どの白話資料に、どういう語彙が、どれくらい、どのように用いられているかを明確にする」という作業が必要な時期に来ている。<sup>4)</sup> 言葉ではこのように簡単に表現してしまうが、実際に行う作業となると、相当の時間がかかると想定している。理由は、中国近世語資料だけでも膨大であるうえに、同一語彙であっても意味用法が異なる故、これらの語彙を上記の如く用法上明確にするのは、一つ一つ文脈の中で検証しなければならないからである。従って、今後、もし拙文に興味を持たれる同攻がおられれば、是非力をお借りしたい。

今回の「中国近世語資料の分類語彙表」作成は、全面的な語彙の整理を行う。具体的には、(1)語彙の種類（概念別、運用別等における語彙の種類はどれだけ存在するか）、(2)語彙の分量（語彙の類義語等の出現統計）、(3)概念分類（類義語に注意を払う）、(4)品詞分類、(5)中国語独特の表現法（習慣上の用法等）等である。即ち、「どの白話資料に、どういう語彙が、どれくらい、どのように用いられているかを明確にしよう」とするのである。

筆者は、明末清初に成書されたといわれている 100 万字超の白話資料である<<醒世姻縁傳>>を先ず担当する。概念分類は、柴田武・大野進 2002 を参考に改編した。<sup>5)</sup> 概念分類は、以下に示す通り、全部で 100 とした。

- 00 生死 01 生育 02 睡眠 03 飲食・呼吸 04 視聴覚 05 感覚・感情  
06 愛情・愛好 07 欲望 08 歓喜 09 悲痛・寂寞 10 後悔・哀惜  
11 苦悩・失意・憂鬱・苦勞 12 困苦・恥辱・羞恥 13 嫌悪 14 驚嘆・恐怖  
15 思考・占断 16 調査・確認・計算 17 選定・決定 18 識別・分別 19 言語

- 20 約束・交渉 21 教示・広報 22 表記 23 姿勢 24 起居 25 歩行  
 26 通行・通過 27 往来・出発・訪問 28 交流 29 態度・挙動 30 気質・仕草  
 31 性急な・多忙・勇猛 32 遊戯・休憩 33 傲慢 34 尊敬・信心・重視  
 35 依頼・強制・勧誘 36 詐欺・計略 37 闘争・勝負 38 攻守 39 叱責・脅迫  
 40 配慮・接待 41 従順・反抗 42 授受・許可 43 行為・成否  
 44 従事・努力・就職・準備 45 探索・追求 46 獲得・採用 47 中止・休止  
 48 停止・停滞 49 運動・開閉 50 転倒・傾斜 51 振動 52 手足の動作  
 53 支持・抱擁・所持・担当 54 利用・操作・有効 55 到達 56 入る・はめ込む  
 57 出 58 接触 59 付着・装着・接続 60 除去・掘削 61 脱落 62 移動  
 63 設置・積載 64 統合・整理 65 分割・区画 66 乱雑・狂騒 67 修正・統治  
 68 生産・開・編成 69 破壊 70 切断 71 変形 72 変化一般 73 強弱  
 74 硬軟 75 大 76 小・狭 77 長短 78 高低 79 多数・多量・裕福  
 80 少数・少量・貧乏 81 遠近 82 清濁 83 染色・色彩 84 乾湿 85 温度  
 86 燃焼 87 自然 88 新古・老若 89 時間 90 開始・終了・継続  
 91 関係・不必要 92 適合 93 異同・代行・変換 94 善 95 悪 96 存在・含有  
 97 出現・生起 98 不在・消滅 99 その他（指示詞・代名詞・形式名詞など）

以下、<<醒世姻縁傳>>からの100種の概念に分類した用例をできる限り網羅的に掲げる。但し、今回は、第1回～第8回あたりの動詞を中心に挙例した(但し、必要に応じて他の品詞も含む)。

各用例の下線、和訳は筆者である。用例後の数字は出現章回及び概念番号とした。そして、下線箇所和訳の順に列挙してある。これらの語彙（関連語彙）は、<<醒世姻縁傳>>に出現する種類をある程度掌握できるが、その出現分量（頻度）は反映されていない。今回は、とりあえず00～26とした。なお、▲の記号は、概念が2種類以上に及ぶことを示す。

差一點兒就 <u>驚殺</u> 我了(4) <sup>6)</sup>	00	生死	息が詰まって死ぬ
不二日就 <u>驚死</u> 了(6)	00	生死	息が詰まって死ぬ
<u>差一點兒就驚殺</u> 我了(4)	00	生死	あやうく、危なく、もう少しで(死ぬ)
要他與那老鼠 <u>償命</u> (6)	00	生死	命を償う
差一點兒沒叫那狐狸精治造了個 <u>臭死</u> (6)	00	生死	殺される<意味項目:角川無し> <sup>7)</sup>
即時 <u>促滅</u> 了(1)	00	生死	死ぬ
如此蹉跎[ <u>cuōtuó</u> ](1)	00	生死	時を無駄に過ごす
他勢望你 <u>搭救</u> (3)	00	生死	命を救う
方取你去 <u>抵命</u> (3)	00	生死	自分の命で償う
那庫吏娘子 <u>吊殺</u> 了(7)	00	生死	首吊り自殺する
你要一交 <u>跌死</u> 你哩(3)	00	生死	つまづき死ぬ

你莫非尋思 <u>短見</u> (9)	00	生死	自殺する
叫那光棍 <u>餓殺</u> (6)	00	生死	餓死させる 〈使役“叫”ゆえに「・・させる」〉
把頭被也先割去(7) <u>割了頭</u> (2)	00	生死	〈首を〉斬る
<u>過苦日子</u> 了(2) <u>過</u> 二十五廟上(7)	00	生死	過ごす
如 <u>過不的</u> <=得>(3)	00	生死	過ごす
我 <u>過的去</u> 往前過(3)	00	生死	過ごせる
且先送與 <u>過節</u> (3)	00	生死	祝日(この場面では「元宵節」)を過ごす
單與那海潮兩兄弟住持 <u>過活</u> (8)	00	生死	暮らす
好殺生 <u>害性命</u> 的人(1)	00	生死	殺す
不過舌耕 <u>糊口</u> (1)	00	生死	口すぎをする、どうにか暮らしを立てる
<u>還醒</u> 過來了(7)	00	生死	蘇る、生き返る
<u>活</u> 了俺家一個人(4)	00	生死	生かせる
<u>活</u> 寶貝(6)	00	生死	生きている
我情知合他 <u>活不成</u> (2)	00	生死	生きてられない
一個 <u>活東西</u> 怎麼(6)	00	生死	生き物
兩個舊役的 <u>家屬</u> (7)	▲00	生死	// 81 遠近 親戚
你不 <u>救</u> 他也還罷了(3)	00	生死	(命を)救う、命を助ける
不惟不肯 <u>救拔</u> (1)	00	生死	(命を)救う、命を助ける
這乾血癆病証 <u>救不活的</u> (8)	00	生死	救えない
都是我 <u>救護</u> 住了(6)	▲00	生死	// 38 攻守 助ける、救護する
說是甚話。 <u>救治</u> 人命(4)	▲00	生死	(命を)治療により救う // 67 修正 治療する
原要指望晁大舍 <u>救</u> 他性命(1)	00	生死	(命を)救う
快請大奶奶前去 <u>看</u> [kǎn]守(7)	00	生死	看病する // 01 育成させる、世話する
要殺要 <u>砍</u> (2)	00	生死	// 73 切断 叩き斬る、敲き割る
叫起養娘,都來 <u>看</u> 恃(2)	▲00	生死	看病する // 01 生育 世話する // 40 配慮 面倒見る// 41 従順 仕える // 43 行為 手当てする // 31 性急な 応急
你耐心 <u>苦過</u> (3)	00	生死	苦しみながら過ごす
你不肯安分 <u>快活</u> (3)	00	生死	愉快地暮らす、楽しくやる
把・・ <u>老鼠</u> 咬殺了(6)	00	生死	ネズミ
把賣 <u>老鼠藥</u> 的(6)	▲00	生死	ネコいらず // 95 悪 毒薬
拚着那父親的 <u>老性命</u> (7)	00	生死	命
海會沒了師傅(8)	00	生死	死ぬ
萬一 <u>沒事</u> ,不得撰錢與他使(7)	00	生死	何事もない、何でもない

一身的精神命脈(5)	00	生死	命脈、いのち
然後自己抹了頭(2)	▲00	生死	// 70 切断 首を斬る
約二十五歲年紀(6)	00	生死	年齢
打得粉碎,再與才 粵命不遲(6)	▲00	生死	// 44 努力 命を投げ出す
楊古月家熬膏藥嗆死了(7)	00	生死	煙で噎せて死ぬ
活活敲死(1)	00	生死	殴り殺す、ぶち殺す
只要死不求生了(4)	00	生死	生きようとする
若是再把計氏屈死了(3)	00	生死	不慮の死となる
她撇撇屁股丟<=去>了(2)	00	生死	あの世へ行く
怎麼人世間有這們希奇物件(6)	00	生死	世の中、世間
殺了個罄淨(8)	00	生死	殺す
殺害他的性命(3)	00	生死	殺す
不致傷生(6)	00	生死	傷がつく
是計氏行動上吊(1)	00	生死	首をつる
又不肯舍着身同爹娘在這裏(7)	00	生死	自分を犠牲にする
那個射殺的死狐(1)	00	生死	射(い)殺す
不該把他射死(3)	00	生死	射(い)殺す
將三十歲生子晁源(1)	00	生死	生まれる
且過了奶奶生日(5)	▲00	生死	// 08 歡喜 誕生日
這個小產的生死是· · · (4)	00	生死	生死
不繇的十生九<=死>了(2)	00	生死	<歇>必ずやあの世行き
世間希奇古怪了(6)	00	生死	世の中、世間
寡是你守<=守寡>(2)	00	生死	やもめ暮らしをする、後家になる
你就當真死了(1)	00	生死	死ぬ
問着點氣兒,死不迭的(6)	00	生死	死んでしまう
胡旦的親外婆死久了(5)	00	生死	死んで久しい
身上還溫溫(7)	▲00	生死	// 85 温度 (体が)温かい
可憐一旦無常(1)	00	生死	<婉>死ぬ
大有性命可慮(7)	00	生死	命にもかかわる
雖狀相貌不甚軒昂(1)	00	生死	澁刺とした
那怕你真個懸梁刎頸(1)	00	生死	死ぬ
把一個· · · 老鼠咬殺了(6)	00	生死	噛み殺す
真是 <span style="text-decoration: underline;">要死不活</span> (4)	00	生死	<成>死んでしまうと騒ぐ
通是活了俺一家子哩(4)	00	生死	一家(の命を救う)
人又 <span style="text-decoration: underline;">拯救不得</span> (4)	00	生死	救えない
還耽閣了 <span style="text-decoration: underline;">中則儘</span> 哩(2)	00	生死	<歇>命を失くす

住這等大房(5)	00	生死	(こんな大邸宅に)暮らす
在華亭衙內住了半年光景(1)	▲00	生死	// 24 起居 (・・年間)暮らす
着身同爹娘在這裏(7)	00	生死	自分を犠牲にする
說我是走獸(8)	00	生死	獸
是胡旦的表母舅(5)	01	生育	(母方の)叔父
也都是表兄弟(5)	01	生育	(姓の異なる)従兄弟
多服用幾劑,保養保養(2)	01	生育	養生する
葆養<=保養>他那不忍的孩心(1)	01	生育	養生する
即不姐己持世(7)	01	生育	転生する
那羊毛出在羊身上(1)	01	生育	生える、できる
出落得唇紅齒白(1)	01	生育	育つ
雖是娼妓出身(2)	01	生育	生まれ、生まれる
大叔,怎得纔來(5)	01	生育	<俗>叔父
脫不了這丫頭沒有爹(8)	01	生育	父親
恐爹娘盼望(6)	01	生育	両親
兒幹的不成人事(7)	01	生育	息子の私<書簡の中>
我要這混帳兒子做甚麼(5)	01	生育	息子
糞土一般的多了(5)	▲01	生育	// 95 悪 堆肥、価値の無いもの
認義了你兩口子為父母(8)	01	生育	父母、両親
誰知他是這樣的根器(5)	01	生育	家柄
我正與公公說話(6)	01	生育	お爺さん
問了公婆的安否(8)	01	生育	義父母、舅姑
姑夫算計要怎樣與他做(5)	01	生育	兄さん
涵養這方寸不忍的心(1)	01	生育	育てる
姐姐要水哩(7)	▲01	生育	// 88 老若 // 28 交流 姐さん
胡旦進去見了姪母(5)	01	生育	叔母
後來知識漸開,越發・・(1)	01	生育	(知恵が)つく、育つ
開着十數朵花(5)	01	生育	花が咲く
令尊被光棍辱了(7)	01	生育	父上
留着好好的一頭黑髮(8)	01	生育	(髪を)伸ばす
僱了驢子(6)	01	生育	ロバ
僱了三個長驪(5)	01	生育	(全行程通しの)ラバ
這貓是西竺國如來・・(6)	01	生育	ネコ
放着極好有名色的貓兒不買(6)	01	生育	ネコ
看了一會,真是毛深溫厚(2)	01	生育	毛がふさふさ
尋常門戶罷了(5)	01	生育	家柄

是蘇錦衣的 <u>內侄</u> (5)	01 生育 (妻の)甥
<u>娘</u> 稍了這點子東西與他(8)	01 生育 母親、おふくろ
乃是梁生的 <u>娘舅</u> (5)	01 生育 叔父
只尋清門靜戶人家 <u>女兒</u> 纔是(8)	01 生育 娘さん
只尋清門靜戶人家 <u>女兒</u> 才是(8)	01 生育 立派な・きちんとした家柄
只尋清門靜戶人家 <u>女兒</u> 纔是(8)	01 生育 家
却有了五個月 <u>身孕</u> (4)	01 生育 身ごもる
這個婦人 <u>生產</u> (4) <u>頭次</u> <u>生產</u> (4)	01 生育 出産(する)
許多人來僱 <u>生口</u> (5)	01 生育 (ラバなどの)家畜
却是 <u>圖生</u> <u>圖長</u> (3)	01 生育 子を産み育てる
旁邊 <u>侍候</u> 的盤頭丫頭(2)	01 生育 仕える、身の回りの世話をする
那前邊 <u>伺候</u> 珍姨的人們(3)	01 生育 仕える、身の回りの世話をする
把五個月 <u>胎氣</u> 動了(4)	01 生育 つわり、妊娠
<u>僱頭口</u> (5)	01 生育 家畜(ラバ、ロバ等)
又是吳國伯 <u>託托</u> 生的(8)	01 生育 転生する
原是個鑿木馬 <u>脫生</u> 的(8)	01 生育 転生する
却是胡旦的 <u>外公</u> (5)	01 生育 祖父
胡旦的親 <u>外婆</u> 死久了(5)	01 生育 祖母
<u>外甥</u> 不在外公家歇(5)	01 生育 甥
牽到驢棚裏 <u>喂</u> 些草(4)	01 生育 餌をやる
到驢棚內 <u>喂</u> 上了馬草回來(4)	01 生育 餌をやる
罰他與凡人 <u>餵養</u> (6)	01 生育 飼う
治珍哥的 <u>小產</u> (4)	01 生育 流産
<u>小產</u> 下一個女兒(4)	01 生育 流産する
如今 <u>養成</u> 蛇蚤性了(8)	01 生育 (育って)・・となる、・・になる
<u>養</u> 活着這佛貓(6)	01 生育 育てる、飼う
你自進去 <u>照管</u> 病人(4) 煩得動他 <u>照管</u> (5)	01 生育 面倒をみる
<u>轉世</u> 他來報你(3)	01 生育 転生する
暮年一 <u>子</u> ,又在天涯(7)	01 生育 (生まれた)子<書簡の中>
<u>安下</u> <=安歇> <u>頭</u> 鼾鼾睡去(4)	02 睡眠 就寝する
<u>打</u> 個 <u>盹</u> 就要催起蕭北川來(4)	02 睡眠 居眠りする
睡着 <u>打</u> 呼盧(6)	▲02 睡眠 // 87 自然 喉をゴロゴロ鳴らす、 鼾をかく
疼的 <u>番</u> <=翻> <u>不得</u> <u>身</u> (3)	02 睡眠 寝返りを打つ
身上也略略可以 <u>番</u> <=翻> <u>轉</u> (3)	02 睡眠 寝返りを打つ
<u>喚醒</u> 夫人(6)	02 睡眠 呼び起こす

你慢慢 <u>叫醒</u> 他(4)	02 睡眠 呼び起こす
夢中常常 <u>驚醒</u> (2)	02 睡眠 (夢から)驚いて目覚める
等困<=睏>了,也有床在內面(4)	02 睡眠 眠い
他醉欲 <u>眠</u> 君且去(4)	02 睡眠 眠る
收拾了 <u>鋪蓋</u> (6)	02 睡眠 寝具
到申時方 <u>起</u> (1)	02 睡眠 起床する
還在床上害頭疼, <u>起不來</u> (3)	02 睡眠 起床できない
計氏方纔 <u>起來</u> (2)	02 睡眠 起床する
晁大舍次早 <u>起身</u> (1)	02 睡眠 起床する
那宿酒也還不得十分 <u>清醒</u> (1)	02 睡眠 眠りから覚める
不許上床去 <u>睡</u> (1)	02 睡眠 眠る
收拾上床 <u>睡定</u> (3)	02 睡眠 寝付く、寝入る
且 <u>睡過</u> 一夜(4)	02 睡眠 眠る
他待和他 <u>睡覺</u> (2)	02 睡眠 眠る
喫了藥就安穩 <u>睡</u> 了一覺(2)	02 睡眠 眠る
梁胡二人已 <u>睡久</u> 了(8)	02 睡眠 寝入る
晁大舍剛剛 <u>睡去</u> (3)	02 睡眠 眠る、寝入る
摟了脖頂 <u>睡熟</u> 去了(3)	02 睡眠 熟睡する
在珍哥對床上 <u>睡下</u> (3)	02 睡眠 眠る
你自己 <u>睡着</u> (3)	02 睡眠 寝付く、寝入る
我與你母親 <u>同夢</u> 一般(6)	02 睡眠 同じ夢を見る
不許入房,不許 <u>同睡</u> (1)	02 睡眠 一緒に寝る
<u>醒</u> 了纔覺頭疼(3)	02 睡眠 眠りから覚める
倒有個 <u>醒來</u> 的光景(4)	02 睡眠 目覚める
<u>醒轉</u> 就覺頭疼(3)	02 睡眠 眠りから覚める
喚了書聲方纔 <u>醒轉來</u> (4)	02 睡眠 眠りから覚める
從夢中 <u>魘</u> [vǎn]叫醒來(3)	02 睡眠 うなされる
五更夢中 <u>魘省</u> (3)	02 睡眠 うなされて目を覚ます
你 <u>魘醒轉來</u> 就害頭疼(3)	02 睡眠 うなされて目を覚ます
也就不甚 <u>譚語</u> 了(2)	▲02 睡眠 // 19 言語 うわごと
連個 <u>饊饊皮扁食</u> 邊(3)	03 飲食 餃子
討人家個 <u>嘗嘗</u> (3)	03 飲食 食べる
<u>喫</u> 了兩碗酸辣湯(1)	03 飲食 食べる、飲む
我 <u>喫不完</u> 酒(4)	03 飲食 飲み終わらない
飯也是 <u>喫不下</u> 的(4)	03 飲食 喉が通らない
<u>喫得下</u> 飯去哩(3)	03 飲食 食べられる

同回莊上喫飯(1)	03 飲食	ごはんを食べる
加一錢六分人參,喫了下去(4)	03 飲食	飲み下す
你自進去照管病人喫藥(4)	03 飲食	薬を飲む<=服薬>
一付齊整些的攢盒(3)	03 飲食	重詰
如今還不曾倒過氣來哩(4)	03 呼吸	体が弱って荒い息遣いをする
我與你豆兒吃(6)	03 飲食	まめ
鸚哥見了丫頭搗着豆子(6)	03 飲食	まめ
一盒子點心(3)	03 飲食	軽い食べ物
管他的飯食(5)	03 飲食	食事
我向日還服了蛤蚧丸(2)	03 飲食	服用する、飲んでいる
一服藥下去(8)	03 飲食	薬を飲む
食遠服下(8)	03 飲食	(薬を)飲む、服用する
搬出果菜,大家喫了一回酒(1)	03 飲食	果物や野菜、惣菜
年下買瓜子(6)	03 飲食	スイカ・向日葵の種
使湯藥灌將下去(4)	03 飲食	飲み下す
等煎好了湯藥,灌下(4)	03 飲食	飲み下す
一盒雜色果子(3)	03 飲食	果物
又將藥滓煎服(2)	03 飲食	(薬を)煎じて飲む
王振進了早膳(5)	03 飲食	食事をとる
買瓜子喫也是好的(6)	03 飲食	齧る
懇<=啃>他的鼻子(8)	03 飲食	齧る
空吃草料(5)	03 飲食	無駄飯を食う
吃飯也不口苦(5)	03 飲食	口に苦い<角川無し>
身上火熱起來,說口苦(2)	03 飲食	口が空カラになる
連個饅饅皮扁食邊(3)	03 飲食	マントウ、蒸しパン
拿出一把菘豆來(6)	03 飲食	リョクトウ
被底下氣息(4)	03 呼吸	息をする
器皿煤米等物(6)	03 飲食	食器類
加一錢六分人參(4)	03 飲食	ニンジン(薬用)
若不投他一投(4)	03 飲食	迎え酒をする
你却又要投酒(4)	03 飲食	酔い醒めの酒を飲む、迎え酒をする
舐他的糞門(1)	03 飲食	舐める
呷在口裡(4)	03 飲食	飲む
叫了人買了嘎飯(8)	03 飲食	おかず
伺候下酒了(4)	03 飲食	酒肴
今日再一貼下去(2)	03 飲食	薬を飲む



將小矮桌安在熱炕上(7)	03 飲食 背の低い小さなテーブル
肴饌比昨日更加豐盛(4)	03 飲食 料理
得空就來咬人(3)	03 飲食 (犬が) 噛む
從旁一隻狗向前咬住(1)	03 飲食 噛み抑える
李成名自斟自酌(4)	03 飲食 <成>手酌をする、一人酒を飲む
甚是不成模樣(8)	04 視聽覚 恰好がつかない、体裁が悪い
晁大舍側着耳朵(3)	04 視聽覚 <連>耳を立てる、耳をそばだてる
只待張天師抄了手(1)	04 視聽覚 見守る、手をこまぬく
我綽見點影兒(7)	04 視聽覚 ちらりと見かける
要將殺機觸于目(1)	04 視聽覚 目に触れる
大眼看小眼(3)	04 視聽覚 <熟>方法が無く唾然とするさま
那丫頭東看西看(2)	04 視聽覚 きよろきよろする
又將對了晁大舍的耳朵慢慢說道(3)	04 視聽覚 耳
晁書向胡旦耳躲邊悄悄問道(5)	04 視聽覚 耳のあたり、耳のそば
計氏也只粧耳聾(3)	04 視聽覚 <形>耳が聞こえない
就像耳聾眼瞎的一般(6)	04 視聽覚 耳目が不自由
走在高岸上觀望(7)	04 視聽覚 高みの見物をする
自先起身,往外一拱(1)	04 視聽覚 見守る
向童定宇拱手稱謝(4)	04 視聽覚 拱手する
回頭顧盼(1)	04 視聽覚 人の様子を見る
晁大舍見他不稱大爺不說話(4)	04 視聽覚 見る
不該大人見小人的過(3)	04 視聽覚 トガを見る(見ない)
大兩縣靜街道(7)	04 視聽覚 静かにさせる
一雙眼看了鼻尖(1)	04 視聽覚 見る
看來倒只是賣春線罷了(4)	04 視聽覚 見た所
看見計氏在門首(2)	04 視聽覚 見かける
這等看起來,他必是怕· · (3)	04 視聽覚 見た所
益把計氏看同糞土(4)	04 視聽覚 · ·と同じに見る
請計氏來看望(2)	04 視聽覚 (親しい人の様子)を見る
俺大爺看着<=看起來>壯實(2)	04 視聽覚 見た所、見かけは
我沒大看真,不知是四根(4)	04 視聽覚 よく見る、真剣に見る
怎麼合人溜眼睛(2)	04 視聽覚 さっと見る
模樣也不十分的標致(8)	04 視聽覚 容姿、顔立ち、容貌、顔かたち
只聽得滿家熱熱鬧鬧的(2)	04 視聽覚 がやがやと
只好哄那愚夫的肉眼(1)	04 視聽覚 肉眼
賞新到的戲子(5)	04 視聽覚 觀賞する、見て楽しむ

賞燈筵宴(5)	04 視聽覚	灯節を愛でる、祝う
請請那一班夫家一賞雪(1)	04 視聽覚	雪見する
這們寬脾胃的聲嚙(4)	▲04 視聽覚	// 19 言語 音声
脫不了是自己體面(4)	04 視聽覚	体裁、体面
楊太醫都一一聽在肚裡(2)	04 視聽覚	聞く
聽不得風就是雨(2)	04 視聽覚	風の音が聞こえないのにもう雨という
又聽得放了三聲砲(2)	04 視聽覚	聞こえる
聽見晁秀才選了知縣(1)	04 視聽覚	聞こえる
我聽說如今通不往後去(2)	04 視聽覚	聞いている
你聽公公說(3)	04 視聽覚	// 91 関係 …から…と聞いている
與眾百姓們玩賞(5)	04 視聽覚	觀賞する、見て楽しむ
晁大舍望着楊古月說道(2)	04 視聽覚	見る
我聞得他與小珍哥…(2)	04 視聽覚	聞く、聞いている
聞他的名來(7)	04 視聽覚	名声を聞く、聞いている
不聞于耳(1)	04 視聽覚	耳に聞こえる
問說王振與蘇劉兩箇…(8)	04 視聽覚	聞いている、聞いて知る
細看方知是胡旦(5)	04 視聽覚	よく見る、詳しく見る
徐看京中動靜(8)	04 視聽覚	おもむろに見る
珍哥佯佯不採的不理(6)	04 視聽覚	目もくれない
我綽奸點影兒(7)	04 視聽覚	影
映着日頭怪好看(7)	04 視聽覚	照らされる
也還有體面(8)	04 視聽覚	体裁が良い
晁書二人乍見了,還不認得(5)	04 視聽覚	ざっと見る
我每日照鏡(8)	04 視聽覚	鏡を覗く
也便睜了一雙眼怒視(1)	04 視聽覚	目を見開く
只見上面坐着一個…(3)	04 視聽覚	ふと…が見える
只聽的嗥[háo]了一聲(1)	04 視聽覚	聞こえる
也被楊古月撞見了一半(3)	▲04 視聽覚	// 28 交流 ぼったり見る
方信夜間做夢是真(3)	04 視聽覚	夢を見る
晁大舍不勝喜歡(6)	05 感覺	極限に達する(感情を表す時)
如今不省人事(2)	05 感情	気を失う
珍哥的頭也就漸漸不疼了(3)	05 感情	痛いと感じなくなる
計氏呆了半晌(2)	▲05 感情	// 14 驚嘆 ぼうっとする
多謝你去看我(2)	05 感覺	感謝する
餓的那口臭牙黃的(6)	05 感覺	腹が減る
他就覺乏困的(5)	▲05 感情	// 02 睡眠 疲れて眠い

童山人 <u>感激不盡</u> (4)	05 感覺	とても感謝する、感謝に堪えない
<u>害頭疼</u> (3)	▲05 感情	// 95 悪 痛い、痛いと感じる
我 <u>黑了眼</u> (3)	05 感覺	目がくらむ
李成名昏了半晌(3)	05 感覺	気を失う
晁大舍又愈覺昏沉(2)	05 感覺	頭がくらくらする
珍哥將他怎樣昏迷(2)	05 感覺	気を失う
<u>昏去半日</u> ,方纔擡進· · (3)	05 感覺	気を失う
人也昏暈去了(4)	05 感覺	気を失う
又愈覺昏沉(2) 便覺頭疼(3) 更覺寬鬆了(4) <u>覺乏困</u> (5)	05 感覺	感じる
<u>覺得公婆不甚喜歡</u> (7)	05 感覺	感じる
<u>覺的肚內稍稍寬空了</u> (4)	05 感覺	感じる
<u>堪堪待死的火勢</u> (6)	05 感覺	みるみるうちに
未免 <u>勞苦了</u> (2) <u>勞苦着了</u> (3)	05 感覺	へとへとに疲れる
只道是日間 <u>勞碌</u> (1)	05 感覺	疲れる
沒覺 <u>勞着麼</u> (5)	05 感覺	疲れる
<u>累着我腿疼</u> (6)	05 感覺	疲れさす、苦勞をかける
又怪 <u>鋪騰酒氣</u> (4)	05 感覺	鼻をさす、匂いがぷうんと来る
聞着點 <u>氣兒</u> (6)	05 感覺	におい
這倒不打緊, <u>人非木石</u> (5)	▲05 感情	// 30 氣質 人は誰でも感情を持っている
唬得軟癱成一堆(7)	05 感覺	ぐったり、へなへなとなる
你二人 <u>私情</u> 怎便留得住(7)	05 感情	<書>私情
<u>似覺被人臉上打了一巴掌的</u> (2)	05 感覺	..のように感じる
這一頭宿酒怎麼受(4)	05 感覺	二日酔い(の頭)
腰肚有些 <u>酸疼</u> (4)	05 感覺	<形>身体が凝って痛む
<u>淘碌</u> 他甚麼來(2)	05 感覺	疲れる
或是 <u>淘碌壞</u> 了大官人(2)	05 感覺	疲れて体を壊させる
只是那頭更覺 <u>疼得緊</u> (3)	05 感覺	(とても)痛い
肚裡漸漸 <u>疼將起來</u> (8)	05 感覺	痛くなる
身上也不甚 <u>疼苦</u> (3)	05 感覺	痛く苦しい
覺得在太陽邊煞實 <u>疼痛</u> (3)	05 感覺	(とても)痛い
叫 <u>頭疼</u> (2)	05 感覺	頭痛がする
所以 <u>頭眩眼花</u> (3)	05 感覺	目まいがする
<u>聞着點氣兒</u> (6)	05 感覺	嗅ぐ
迷戀晁大舍的 <u>心腸</u> (1)	05 感情	気持ち、感情
頭上也還覺得 <u>量量的</u> (3)	05 感覺	目まいがする
<u>醉欲眠</u> 君且去(4)	05 感覺	酔う

但他醉倒了(4)	▲05 感覺 // 69 破壞 酔い潰れる
他們雖是愛童定字(4)	06 愛好 愛惜する、愛好する
叫一個狐狸精纏的堪堪待死(6)	06 愛好 憑かれる
寵與不寵(8)	06 愛好 寵愛する
所以晁大舍萬分寵愛(1)	06 愛情 寵愛する
打是疼,罵是愛,極該笑(3)	06 愛情 打つのも叱るのも全て可愛いからである
將着得意心的愛妾(8)	06 愛好 お気に入りの
送回了監門首婦人(7)	06 愛好 女
是個好[hào]殺生害性命的人(1)	06 愛好 好き
托晁知縣看顧(5)	06 愛好 目をかける、愛顧する
瞞得兩個老渾帳一些不知(6)	06 愛好 親ばか、老いぼれ
迷戀晁大舍的心腸(1)	06 愛情 恋々とする
雖極是溺愛(8)	06 愛情 溺愛する
把· · 女人接了來(7)	06 愛好 女
偏向着那強盜(3)	06 愛好 エコひいきする、目を付ける
他千萬只是疼我(8)	06 愛好 可愛がる
只因你不疼愛他(3)	06 愛情 愛する、いたわる
王振甚是喜他(5)	06 愛好 気に入る、好む
向他的心不成(3)	06 愛好 エコひいきする
爺心愛,多賞幾兩(6)	06 愛好 気に入る、好きだ
爺不買,誰敢買(6)	06 愛好 旦那
因係獨子,異常珍愛(1)	06 愛情 溺愛する
小人們服事的中意也極多(5)	06 愛好 気に入る、意にかなう<=合意:滿意>
巴得眼穿(4)	07 欲望 待ち焦がれる
恨不得去了打個醋罈的光景(6)	07 欲望 願っている、・・・したくて堪らない
夢也不曾夢見(3)	07 欲望 夢を見る
恐爹娘盼望(6)	07 欲望 待ち望む
情願出家做了姑子(8)	07 欲望 望む
他勢望你搭救(3)	07 欲望 望む
却是圖生圖長(3)	07 欲望 求める
晁大舍望蕭北川來(4)	07 欲望 希望する
希圖沾他些資補(1)	07 欲望 願う、希望する
若要元寶(2)	▲07 欲望 // 91 關係 要る
願祖爺九千歲(5)	07 欲望 願う
指望你有二兩銀子送他(4)	07 欲望 希望する
我適纔做了個夢(3)	07 欲望 夢を見る

夥着與了拜錢(7)	08 歡喜 // 42 許可 // 43 行為 祝儀
伺候拜壽(5)	08 歡喜 誕生日を祝う
他的點福分哩(3)	08 歡喜 福、幸せな巡り合わせ
惹的那些人呱呱的笑(7)	08 歡喜 ゲラゲラと(笑う)
眾親朋絡繹不絕,都來賀喜(6)	08 歡喜 お慶びを申し上げる
珍哥方纔歡喜(6)	08 歡喜 喜ぶ
晁老父子喜不自勝(8)	08 歡喜 大いに喜ぶ
你回來路上歡歡喜喜的(2)	08 歡喜 楽しそうにする
歡天喜地的散了(6)	08 歡喜 大喜びする
茶酒糕餅,送至灶下吉(3)	08 歡喜 吉である、めでたい
虧禹明吾走過來評處(5)	▲08 歡喜 // 91 關係 <副>幸いにも、お蔭で
查看三十日係灶神不樂(3)	08 歡喜 楽しむ、喜ぶ
落得<=樂得>受用(2)	08 歡喜 ..を得て楽しむ、..を掴んでうまい ことをする
那郎中喜得滿面添花(8)	08 歡喜 満面笑みを浮かべる
楊太醫眉花眼笑<=眉開眼笑>說道(2)	08 歡喜 <成>にこにこと大喜びしているさま
兩個眉開眼笑(4)	08 歡喜 <成>にこにこと大喜びしているさま
眯風着眼,呼盧呼盧的起來(6)	08 歡喜 目を細める
又年節到了(6)	▲08 歡喜 // 65 分割 // 90 終了 お正月、春節の 祝い、年の暮
做慶賀道場的(6)	08 歡喜 祝う
煩他相陪取樂(4)	08 歡喜 楽しむ
約齊了同去上壽(5)	08 歡喜 贈り物をして誕生日を祝う
十月初一日,晁夫人生日(5)	▲08 歡喜 // 90 生死 誕生日
不久就是萬歲爺的聖誕(5)	08 歡喜 ご生誕の日
珍哥微笑了一笑(2)	08 歡喜 微笑む
我們大家收拾回去為是(7)	08 歡喜 良しとする
無可不可的<=不知如何是好>作謝(5)	08 歡喜 (感激・喜びの余り)どうしてよいかわからない
五月端節前,到了濟寧(6)	08 歡喜 端午の節句
正喜他在外邊宿監(6)	08 歡喜 嬉しい、喜ぶ
晁書二人喜不自勝(6)	08 歡喜 <成>大喜び
俺公公知道倒是極喜歡的(2)	08 歡喜 嬉しい
晁爺還裂着嘴笑哩(2)	08 歡喜 笑う
王振笑嘻嘻的道(5)	08 歡喜 にこにこと
今幸得華亭縣也虧了人(5)	▲08 歡喜 // 91 關係 幸いにも
今日果狀有幸(4)	08 歡喜 幸いにも、幸いにして

王皮好了。大家造化(2)	08 歡喜 幸運、幸せ
喜的抓耳撓腮(6)	08 歡喜 <成>ひどく喜ぶ
又是生氣,又是悲傷(3)	09 悲痛 悲しい
老計長吁了一口氣(3)	09 悲痛 長嘆息する
長吁短氣,彼此埋怨(3)	09 悲痛 <成>氣落ちしてため息をつく
長吁短嘆,怪喜歡的(7)	09 悲痛 <成>氣落ちしてため息をつく
放聲哭出···來(3)	09 悲痛 声を出して泣く
自己孤伶仃獨處(3)	09 寂寞 孤独である
大爺自己也孤恹(7)	09 寂寞 孤独である
從頭裏號啣痛了(3)	09 悲痛 泣く
號天搭地的哭了一場(8)	09 悲痛 天地に訴えて大泣きする<角川無し> = <small>&lt;成&gt;</small> 號天蹈地
幸得珍哥甚不寂寞(6)	09 寂寞 さびしい
天爺可憐見(2)	09 悲痛 哀れである
號天搭地哭了一場(2)	09 悲痛 泣く
哭說道(3)	09 悲痛 泣いて(言う)、泣きながら(言う)
哭喪着臉(3)	09 悲痛 泣きべそをかく
掉下兩點泪來(2)	09 悲痛 涙
女兒淚眼愁眉(3)	09 悲痛 <成>悲嘆にくれるさま
撇得孤恹冷落(8)	09 寂寞 寥寥冷冷として
一座僻靜書房內(5)	09 寂寞 人氣のない
俗就跟着這們樣失氣的主子(3)	09 悲痛 運が悪い、運が無い
心头痛极了(7)	09 悲痛 胸が痛い
可惜了那好皮幾聲(3)	10 後悔 惜しむ
與他留戀(3)	10 後悔 未練がましい、名残惜しい
心裏舍不了你娘(3)	10 哀惜 捨てきれない
生米做成了熟飯(8)	▲10 後悔 //12 困苦 <諺>生米は煮えてご飯になる、 後の祭り、(整ってからでは)どうしようもない
不大精彩(3)	11 苦惱 <連>元氣なし、しょんぼりしている
喘吁吁的就如曹操酒席上···一般(7)	11 苦惱 はあはあゼーゼー
是打趣張天師符不靈的話(6)	11 苦惱 からかう
也不煩央浼[měi](1)	11 苦惱 煩わす
有些煩惱(8)	11 苦惱 悩み、思い煩う
風殘雨宿,走了二十八個日頭(5)	11 苦惱 雨に宿り風に餐する
也要半年一年活受(3)	11 苦惱 生きながら苦しみを受ける
叫了幾聲苦(4)	▲11 苦惱 // 19 言語 苦しみを訴える

珍哥又頭疼得 <u>叫苦連天</u> (3)	11 苦惱 苦しくて我慢できない、堪らない
又只 <u>苦</u> 了我的孫兒(3)	11 苦惱 苦しめる(cf: 苦也: 困った)
觀音大士是救 <u>苦難</u> 的(6)	11 困苦 苦難、難儀
這也就 <u>苦</u> 死人了(1)	11 苦惱 苦しくて我慢できない、堪らない
<u>碌碌動</u> 只想如此歪年頭(2)	▲11 苦惱 // 15 思考 事務・物事が煩雑であれこれ 苦勞するさま
這小歪 <u>悶</u> 的人 <u>慌</u> (4)	11 苦惱 うつとうしい、煩わしい、退屈
豈不 <u>悶</u> 死人麼(3)	11 苦惱 憂鬱になる
這也就 <u>難</u> 為他了(1) <u>難</u> 為他們(7)	▲11 苦惱 困らせる、酷い事をする // 12 困苦
你如何便 <u>惱巴巴</u> 起來(2)	11 苦惱
不敢 <u>欺</u> (2)	11 苦惱 虐める
嘗將他 <u>欺賤</u> (3)	11 苦惱 虐める
<u>欺凌</u> 丈夫這件不好(3)	11 苦惱 虐げる
平素恃嬌挾寵 <u>欺壓</u> 丈夫(4)	11 苦惱 虐げる
<u>氣喘</u> 如牛(4)	11 苦惱 息切れする、喘ぐ
<u>氣悶</u> 得緊(4)	11 苦惱 もだえ苦しむ、息苦しい
想起昔日向錢鋪賒一二百聞, <u>千難萬難</u> (1)	11 苦惱 <成>大變な苦勞をする
晁大舍 <u>取笑</u> 道(3)	11 苦惱 からかう
晁老不 <u>肉痛</u> 去了許多東西(8)	▲11 苦惱//29 態度//10 哀惜 身を切られる程辛い・惜しい
他的令尊被光棍 <u>辱</u> 了(7)	11 苦惱 辱める
新節間也甚是 <u>少魂沒識</u> 的(3)	11 苦惱 失意落胆している、元気が無い
又淡薄,又 <u>受氣</u> (5)	11 苦惱 嫌な思いをする
<u>心上不安</u> (5)	11 苦惱 心苦しい、気持ちが落ち着かない
<u>辛苦</u> 一場(5)	11 苦勞 苦勞する
近來也甚 <u>雁頭鴟勞嘴</u> 的(4)	11 苦惱 うなだれる
夜來 <u>有勞</u> ,我通不大・・(2)	11 苦勞 ご苦勞様
<u>詐害</u> 百姓的惡款(7)	11 苦惱 苦しめる
那時才是小珍子 <u>作難</u> 哩(6)	11 困苦 当惑する、困る
着實有些 <u>慙</u> 于孟子(7)	▲12 恥辱 // 43 行為 面目潰して恥じ入る
光銀子也 <u>不好意思</u> 的(4)	12 恥辱 具合悪い
不是 <u>頑</u> 的(7)	12 困苦 大變だ、大ごとだ、冗談ではない
<u>不宜</u> 輕出(7)	12 困苦 <助動>..するのはまずい、..するのは良くない
<u>不得已</u> 的情來(7)	▲12 困苦 // 42 許可 やむを得ず
<u>豆腐</u> 弔在灰窩裡(8)	12 困苦 <諺>豆腐は灰の中に落ちた、箸にも棒にも かからない、どうしようもない

<u>福無雙至,禍不單行</u> (4)	12 困苦	<諺>泣き面に蜂、福は重ねて来ず、禍は重ねて来る <=雪上加霜>
却便 <u>進退兩難</u> 了(5)	12 困苦	<成>進退窮まる
<u>苦也,苦也</u> (7)	12 困苦	困った
<u>了不的,了不的</u> (8)	12 困苦	大変だ!!
皇帝也 <u>就沒法兒</u> 了(7)	12 困苦	どうしようもない
<u>沒奈何</u> 了(7)	12 困苦	どうしようもない
<u>沒顏色</u> 的走得去了(6)	12 羞恥	<熟>面目ない、体裁が悪い
也 <u>就沒有了</u> (4)	12 困苦	どうしようもない
先生 <u>迷了路</u> (5)	12 困苦	道に迷う
那老計的父子也來 <u>奈不動</u> 他(1)	12 困苦	どうしようもない
你不羞,你們替他 <u>羞罷</u> (3)	12 恥辱	恥じ入る、恥をかかせる
<u>雪上加霜</u> 的一般不快活(7)	12 困苦	<成>泣き面に蜂
<u>躁</u> 的他婆子通紅的臉(7)	12 羞恥	恥ずかしい
我 <u>只得</u> 另做一樣罷了(8)	▲12 困苦	// 42 授受 仕方が無い
我們 <u>只索</u> 罷了(7)	▲12 困苦	// 42 許可 仕方が無い
我也是年下 <u>着極</u> (6) 我只是這年下 <u>着極</u> (6)	12 困苦	困る<角川は“着急”のみ>
養娘、婢女 <u>拌唇擻</u> <=嘸> <u>嘴</u> (3)	13 嫌悪	口をとがらす、ふくれっ面をする
賣貓人 <u>繃着臉</u> 說道(6)	13 嫌悪	仏頂面をする
不肯與他 <u>着實變臉</u> (8)	13 嫌悪	怒る
他要 <u>變下臉</u> 來(8)	13 嫌悪	仏頂面をする
<u>不快活</u> 的事再沒有一件· · (7)	13 嫌悪	おもしろくない、不快である
爺也是個 <u>不耐煩</u> 的(6)	▲13 嫌悪	// 29 態度 煩に堪えない、煩いのに堪えない
雖是心裏 <u>不願意</u> (7)	13 嫌悪	嫌である、望まない
<u>吃醋</u> 的(8)	13 嫌悪	焼きもちを焼く
<u>衝撞</u> <=沖犯>了你老人家(3)	13 嫌悪	怒りに触れる、相手の機嫌を損ねる
<u>睨</u> <=睨>了晁大舍 <u>一眼</u> (6)	13 嫌悪	睨む
崇書上說 <u>觸怒</u> 家親(3)	13 嫌悪	怒りに触れる
你倒休要 <u>賭氣</u> (2)	13 嫌悪	腹を立てる、むっとする
<u>妒忌</u> 的,吃醋的(8)	13 嫌悪	妬む
這是 <u>公憤</u> ,你二人私情(7)	13 嫌悪	義憤
大家 <u>嘴谷都</u> <=咕嘟>在炕上· · (3)	13 嫌悪	口をとがらす、頬を膨らます
<u>恨</u> 晁大尹如蛇蠍一般(6)	13 嫌悪	恨む
他如今 <u>紅了眼</u> (2)	13 嫌悪	目が血走る、怒る
有一二分 <u>灰心</u> 的說道(8)	13 嫌悪	萎える、げんなりする、熱も冷める



這話分明是要 <u>激惱</u> 晁大舍(3)	13	嫌悪	刺激して怒らせる、激怒させる
我黑了眼, <u>看不上</u> 他(3)	13	嫌悪	気にいらぬ、嫌う
只是我 <u>看拉不上</u> <=看不上>(2)	13	嫌悪	気にいらぬ、嫌う
<u>可惡</u> 多着哩(7)	13	嫌悪	憎たらしい
那 <u>珍哥</u> <u>慢條斯理</u> (7)	13	嫌悪	ぐずぐずする
又是 <u>惱</u> (2) 如來 <u>惱</u> 他(6)	13	嫌悪	怒る
也還敢 <u>怒</u> 敢言(1)	13	嫌悪	怒る
睜了一雙眼 <u>怒視</u> (1)	13	嫌悪	睨む
又隨即 <u>嘔</u> 了一口(3)	13	嫌悪	むしゃくしゃして怒る
<u>氣</u> 着計氏(3)	13	嫌悪	腹が立つ、怒る
計氏又是 <u>氣</u> (2)	13	嫌悪	腹が立っている、怒っている
倒把俺婆婆 <u>氣</u> 了個 <u>掙</u> (2)	13	嫌悪	怒りの余り言葉が出ない<氣得發怔;氣得發楞>
別要 <u>惹</u> 我沒那好的(3)	▲13	嫌悪	怒らす // 97 生起 (私を)怒らせる
他· · 只會 <u>撒氣</u> (8)	13	嫌悪	八つ当たりする、当たり散らす
<u>蛇蠍</u> 一般(6)	13	嫌悪	蛇蠍(の如く)
要我 <u>生氣</u> (2)	13	嫌悪	怒る
兩個也不 <u>使性</u> <=發脾氣>了(3)	13	嫌悪	癩癩を起こす、喧嘩する
人恐怕晁大舍 <u>使性子</u> (6)	13	嫌悪	癩癩を起こす、腹を立てる
與禹明吾 <u>頑惱</u> 了(2)	13	嫌悪	遊んだ結果、腹の立つこととなる
所以晁大舍一發 <u>無聊</u> (1)	13	嫌悪	退屈である
<u>嫌</u> 老計父子村貧(1)	13	嫌悪	嫌がる
<u>嫌憎</u> 計氏鄙鎖(1)	13	嫌悪	嫌がる
又漸漸 <u>厭絕</u> 了(1)	13	嫌悪	嫌になる
把媳婦兒 <u>一氣</u> 一個死(7)	13	嫌悪	かっとなる
下面也都 <u>怨</u> 他 <u>不動</u> (5)	13	嫌悪	恨んでも仕方が無い
甚麼是 <u>爭鋒吃醋</u> (2)	13	嫌悪	<成>焼きもちを焼く
血漑漑的 <u>咒</u> (8)	13	嫌悪	呪う
也有念佛中帶 <u>咒罵</u> (的)(6)	13	嫌悪	呪う
也難怪他 <u>着惱</u> (3)	13	嫌悪	怒る
<u>不敢</u> 送出大門(6)	14	恐怖	· · する勇気が無い
<u>喫</u> 了一 <u>驚</u> (6)	14	驚嘆	驚く
計氏 <u>呆了</u> 半晌(2)	▲14	驚嘆	// 05 ぼんやりする、ぼーとする
他便只是 <u>膽怯</u> (2)	14	恐怖	怖気づく、意気地が無い
計氏有甚 <u>害怕</u> (2)	14	恐怖	恐れる、怖くなる
狐精 <u>慌</u> 了手脚(1)	14	恐怖、驚嘆	慌てふためく
晁住媳婦自己覺得 <u>惶恐</u> (8)	14	恐怖	恐れおののく、怯える

屍大舍魂不附體(1)	14	驚嘆	胆を潰す
一發不用 <u>驚恐</u> (2)	14	恐怖	驚きおののく
倒有七八分懼怕(1)	14	恐怖	恐れる
恐怕又 <u>驚嚇</u> 了計氏(3)	14	驚嘆	驚かせる
<u>恐怕</u> 旁邊人有不幫襯的(6)	14	恐怖	恐れる
托在手裏 <u>恐怕</u> 倒了(3)	14	恐怖	..ではないかと思う
你可也 <u>沒志氣</u> (2)	14	恐怖	意気地が無い
珍哥氣得 <u>目瞪口呆</u> (6)	14	驚嘆	<成>空いた口が塞がらない
都不 <u>怕</u> 了(1)	14	恐怖	怖がる
唬得 <u>屁滾尿流</u> (7)	14	驚嘆	あたふたとする
一日 <u>怯似</u> 一日(1)	14	恐怖	徐々に恐れる
<u>希詫</u> 的極了(7)	14	驚嘆	驚く、びっくりする
可不也都 <u>希詫</u> 的慌(7)	14	驚嘆	ひどく驚く<..的慌>
你不聽老人言,定有 <u>恹惶</u> 處(3)	14	驚嘆	慌てふためく
<u>嚇得</u> 面無人色(3)	14	恐怖	驚く
<u>嚇死</u> 我了(3)	14	恐怖	死ぬほど驚く
合珍哥都 <u>唬</u> 了一跳(6)	14	恐怖	驚く
<u>降怕</u> 他一遭(2)	14	恐怖	恐ろしい目に遭わせる
<u>掙</u> <=怔>了一會(6)	14	驚嘆	呆然とする
連那親也都不 <u>顧</u> (7)	▲15	思考	// 40 配慮 顧みない
<u>比</u> 這強一萬倍子的哩(6)	15	思考	..よりも(比較級)
<u>必定</u> 將這幾年詐害百姓..(7)	▲15	思考	// 17 決定 必ず、きっと
<u>不着</u> 這們傻孩子(6)	15	思考	もし..でなければ
<u>不料</u> 初四日飯後(4)	15	思考	はからずも、思いがけず、突然
<u>不料</u> 華亭縣兩個舊役的家屬(7)	15	思考	はからずも、思いがけず、突然
若老爺還嫌 <u>不穩</u> (5)	15	思考	<形>着実でない、安定していない
你要 <u>不信</u> ,你去看看(2)	15	思考	信じない
<u>猜就</u> 猜着八九分(3)	15	思考	推測する、当てる
<u>猜料</u> 了一會,開了衙門(7)	15	思考	推測する
方纔說的一點不 <u>差</u> (3)	15	思考	間違う、誤る
甚是 <u>詫異</u> 了一番(6)	15	思考	いぶかる、不思議に思う
一來心裡先有 <u>成算</u> (2)	15	思考	目論み
正在 <u>忖度</u> 模擬(1)	15	思考	推し量る
你也該自己 <u>忖量</u> 一村量(4)	15	思考	推し量る
王府前演禽 <u>打卦</u> (4)	15	占断	占う
拿着 <u>當</u> 外感(2)	15	思考	(風邪)と見なす

若是 <u>當真</u> 同去(2)	15	思考	真に受ける
誰知 <u>晁大舍</u> 這班人肩膀不齊了(2)	15	思考	…だと思ふ
那計氏還 <u>道是</u> 向日的丈夫(1)	15	思考	…だとみなす、…だと思ふ
<u>晁大舍</u> 也 <u>放心不下</u> (4)	15	思考	不安、安心できない
還 <u>顧</u> 做甚麼官(7)	▲15	思考	// 40 配慮 顧みる
楊古月 <u>掛</u> <=掛念,掛戀>着珍哥(3)	15	思考	気に掛ける
<u>果然</u> 兌了一千兩銀子(6)	15	思考	果して
<u>或是</u> 坐舡 <u>或是</u> 起早(6)	15	思考	或は
<u>即使</u> 日後再僱頭口,這三兩銀 <u>也</u> 不要算在裡面(5)	15	思考	たとえ…でも…
<u>記</u> 昨日,甚是殷勤(4)	15	思考	思い出す
今 <u>見</u> 晁大舍是個好色的邪徒(1)	15	思考	…だとみなす、…だと思ふ
一身的 <u>精神</u> 命脈(5)	15	思考	精神的な
<u>竟自</u> 大落落走進去了(5)	15	思考	<副>なんと、あろうことか
<u>就</u> 差的一二兩銀了, <u>也</u> 沒…(6)	15	思考	たとえ…でも
把品都被人 <u>看</u> 低了(7)	15	思考	見下げる
常被參罰 <u>考</u> 不的 <u>滿</u> (5)	15	思考	官員の(勤務)査定が通らない
去年六月裏 <u>考</u> 了 <u>滿</u> (5)	15	思考	官員の勤務査定をする
請 <u>磕</u> 竹的來 <u>磕</u> 打(4)	15	思考	占う
<u>恐怕</u> 堵擋不住(7)	15	思考	恐らく
只是那旁人的 <u>口</u> 碑(6)	15	思考	人の風評、話題
<u>量</u> 事也不難(5)	15	思考	…と考える、…と目論む
<u>料</u> 也不會悞事(5)	15	思考	…と目論む
<u>碌碌</u> 動只想如此歪念頭(2)	15	思考	あれやこれやで頭を捻る
<u>沒</u> 眼先生上鐘樓, <u>瞎</u> 撞(4)	15	思考	<歇>あてずっぽうにやる
<u>名聲</u> 已是不好了(7)	▲15	思考	// 34 尊敬 名声
<u>名望</u> 雖然也好(5)	15	思考	名望
萬一有人將縣缺 <u>謀</u> 去(5)	▲15	思考	図る、方法を講じて求める
	// 36	詐欺	謀る
你 <u>拇</u> 量着(4)	15	思考	見計らう、推測する
自己回去的 <u>念</u> 頭止住了(7)	15	思考	考え
走過來 <u>評</u> 處(5)	15	思考	評定し処置する<角川無し>
扶持他做個 <u>前</u> 程(5)	15	思考	将来(のある)
<u>情</u> 管我吃不完酒就…(4)	15	思考	おそらく、大抵
<u>若</u> 捱過了年,我留着這貓…(6)	15	思考	もし…ならば
<u>若</u> 是進去了, <u>就</u> 便出不來了(6)	15	思考	もし…ならば
<u>誰</u> 想晁大舍且不敢便叫…(6)	15	思考	思いがけず、以外にも、ところが

誰知晁大舍棄捨了計氏(6)	15	思考	思いがけず、以外にも、ところが
宦囊百凡順意(1)	15	思考	思い通りになる、順調である
思量要到晁爺任内・・(8)	15	思考	思う
筭了這幾日空閒草料(5)	▲15	思考	// 18 識別 …とみなす、…と認められる
算京官(5)	15	思考	(都の役人と)みなす
筭計<=算計>自己、夫人、大舍乘坐(1)	15	思考	目論む、…のつもり、想定する
你自己筭計(7)	15	思考	考える
俺婆婆合我筭記<=算計>(4)	15	思考	目論む、…のつもり
天意已定,也是大數(7)	15	思考	天意
托了坐監為名(6)	▲15	思考	かこつける//91 関係 口実を設ける
脫不了是・・教鸚哥的教師(6)	15	思考	<副>どうせ
沒眼先生上鐘樓,瞎撞(4)	15	思考	あてずっぽうにやる
還想我老楊不想(2)	15	思考	思う
他心裡想道(2)	15	思考	…だと思う
想起昔日向錢舖賒一二百文(1)	15	思考	思う、考える
想起來還值的多哩(4)	15	思考	考えてみる
我可不就信了(7)	15	思考	信じる
我信不過(7)	15	思考	信じられない、信じない
要敘他的功(5)	15	思考	功績を評価する
尋思服事老主人的日短(6)	15	思考	考える
王府前演禽打卦(4)	15	占断	占断する
要不你自己去(7)	15	思考	ことによると
要是他,倒也罷了(7)	15	思考	もしも…ならば
你 <u>一定</u> 也見他來(7)	▲15	思考	// 17 決定 きっと
晁秀才夫婦不以為非(1)	15	思考	思う
侍郎也深以為然(1)	15	思考	その通りだと思う
原來晁大舍的 <u>意思</u> (7)	15	気持ち、意図	
他也四五個 <u>有名</u> 的了(3)	15	思考	<形>有名である
不可有 <u>悞</u> (6)	15	思考	<連>誤りがある、間違いがある
請 <u>圓光</u> 的圓光(4)	15	占断	占断する
有 <u>招對</u> 的話(6)	15	思考	照合する、証拠を突き合わせる
你自己 <u>斟酌</u> (4)	15	思考	勘案する、考慮する
只當納他的諫了(7)	15	思考	…と思いこむ
只道那姑子有甚麼好處(8)	15	思考	…と思う
只道是日間勞碌(1)	15	思考	…と思いこむ

只怕不出來了(2)	15	思考	<連>ただ…だけが気がかりだ
只怕連你們都還騎不過我哩(1)	15	思考	…ではないかと思う
當日只說是個唱旦的戲子(5)	15	思考	…と思う
只想如此歪念頭(2)	15	思考	…と考える
老爺且先定了主意(5)	15	思考	考え、意図
總狀就是・・也・・(8)	15	思考	たとえ…でも、たとい…でも
總狀<=縱然>木偶也難怪他着惱(3)	15	思考	たとえ…でも、たとい…でも
左思右想,還是出門(3)	15	思考	色々考える
比這強一萬倍子的哩(6)	16	計算	倍
查初一日看(3)	16	調査	調べる
查看三十日係灶神不樂(3)	16	調査	調べる
要逐件查考哩(8)	16	調査	点検する、調べる
查理盔甲(7)	16	調査	点検する
叫人替我查去(3)	16	調査	調べる
老婆當軍,沒的充數哩(5)	16	計算	頭数を揃える
庸醫錯看了脈(2)	16	調査	間違った診察をする
果是如此(4)	16	確認	<副詞>確かに
且看投不投,再好加減(2)	16	調査	加減する
簡點<=檢點>了一番(2)	16	調査	点検する、調べる
請了楊古月來看(2)	16	調査	診察する
看畢,又說道(3)	16	調査	診察を終える
請他看病(2)	16	調査	診察する
進入內房看脈(2)	16	調査	診察する<単に[素人が脈を見る]は “摸脈搏”>
待我看一看脈(2)	16	調査	診察する
與那郎中看視(8)	16	調査	診察する
必定要來自己親看(3)	16	調査	自ら診察する
走了二十八個日頭(5)	16	計算	日にち、日数
撚撚試試(6)	16	確認	試す
數了七丸(8)	16	計算	数える
你每次大的去處不筭(4)	16	調査	計算する
他倒替你筭了一筭(4)	▲16	調査	// 15 占断 運勢を見る
叫人替我算算命哩(3)	▲16	調査	// 15 占断 運勢を見る
只在小的去處筭計	16	調査	計算する
將近午轉,兩個喫了飯(4)	16	調査	午の刻 (午前 11:00~午後 1:00)
也不消原籍行查(6)	16	調査	調査する<角川無し>

一來俺北方人離不得家,第二	(5)	▲16	計算	// 89	時間	1つには…2つには…
扯出青梅的手來診了脈(8)		16	調査			脈をとる
請楊太醫來診視(2)		16	調査			診察する
請楊太醫診視<=診視>(2)		16	調査			診察する
所以治珍哥的小產(4)		▲16	調査	// 67	修正	治療する
與晁思才掣[chè]着(1)		17	選択			籤を引く
若天意已定,也是大數(7)		17	決定			運命
新點了兵部(4)		17	選定			<白>(兵部の職に)選任する、命じる、 任じる
後來點雜戲(7)		17	選定			指定する、指示する、選び注文する
約期定了(1)		17	決定			決まる
衙門規矩就便出不來了(6)		17	決定			規則、決まり
揀了七月初七日(6)		17	選定			選ぶ
又揀選了六個肥胖家人媳婦(1)		17	選定			選ぶ
憑俗揀用(8)		17	選定			選ぶ
決意告致仕(7)		17	決定			結審する
看定初二日吉辰,差人到雍山莊上	(4)	17	決定			決める
俗到臨期另僱(5)		17	決定			その時に、期日になる、その時になる <=屆時>
嶽廟求籤(4)		17	選定			お御籤を引く
爽利趕了二十五日廟上買些物事(6)		17	選定			いっそのこと
未免也有些良心(4)		17	決定			…せざるを得ない
計氏哭到痛處,未免得聲也高了(3)		17	決定			どうしても…になる
晁爺新選了官(1)		17	選定			選ぶ
選擇起身南去(3)		17	選定			選ぶ、選択する
議定(5)		17	決定			相談して決める
約定十三日與王振上壽(5)		▲17	決定	// 20	約束	決定する
擇吉日起身哩(5)		17	選定			選ぶ
原也就不敢指定這缺(5)		▲17	選定	// 21	教示	指定する
安我過日子的分罷(2)		18	識別			身の程を知る
難道白白辛苦一場(5)		18	識別			むざむざ
拜認那郎中做了父母(8)		▲18	識別	// 91	拝して認める	
這病不打緊(8)		18	識別			大丈夫、問題ない、心配ない
我不記的是那一個(7)		18	識別			覚えていない
量事也不難(5)		▲18	識別	// 42	許可	大丈夫、難しくない
他也不認我是他老婆(2)		18	識別			認めない

<u>不知</u> 要那一方知州(4)	18	識別	知らない、わからない
<u>不知</u> 是四根, <u>不知</u> 是六根(4)	18	識別	知らない、わからない
司官都 <u>不容易</u> (5)	18	分別	難しい
這又令我不 <u>省</u> (3)	18	識別	知らない、分からない
你們不 <u>醒</u> 的(2)	18	識別	分からない
<u>嗔道</u> <=難怪>管教的大官人(2)	18	識別	<副>道理で
性格 <u>聰明</u> (7)	18	識別	聡明である
<u>村孩子</u> (6)	18	分別	田舎者めが! 無知
<u>搭識</u> 了一個監門前住的私窠子(6)	18	識別	知り合う
<u>當不得</u> 根脚牢固(5)	18	識別	(能力が無く任に)堪えられない (=務まらない)
<u>當不起</u> 晁大舍也就敢為敢做(1)	18	識別	(能力が無く任に)堪えられない (=務まらない)
怎 <u>當起</u> 這等大家(1)	18	分別	足りうる、務まる
小人也不曉得· · 怎樣 <u>得知</u> 的(7)	18	識別	<手段により>知る、分かる
十日內倒有九日不 <u>讀書</u> (1)	18	識別	勉強する
我們畢竟是 <u>讀書人</u> (7)	18	識別	読書人
<u>斷與</u> 了他人去(7)	18	分別	判断する(くれてやると判断)
未免也有些良心 <u>發見</u> (4)	18	意識	気が付く、発見する
兩次托夢甚是 <u>分明</u> (3)	18	識別	<形>明らかである
把這狐精的本相看得 <u>分明</u> (1)	18	識別	<補語>明らかである
甚是 <u>古怪</u> (3)	18	識別	不思議である
其人伶俐 <u>乖巧</u> (8)	▲18	分別	機転が利く、利口 // 89 時間
<u>怪道人</u> 說鄆嫂子知今道古(2)	18	分別	道理で
那些也先 <u>怪異</u> 得緊(8)	18	識別	不思議に思う
那一部是 <u>好做</u> 的(5)	18	識別	<反語>大変だ
這事 <u>何難</u> (8)	18	識別	<反語>何が難しい
甚是 <u>活動</u> (1)	18	分別	機転が利く
說起那鸚哥來,這也是我 <u>經過</u> 的(7)	18	識別	経験する
我看沒有了這頂轎· · (6)	18	識別	··と思う
把這狐精的本相 <u>看得</u> 分明(1)	18	識別	わかる、見てとる
<u>可實</u> 作怪(6)	18	識別	おかしい、不思議だ
畢竟 <u>老成人</u> ,見得是(7)	18	分別	穩健で経験豊かな人
晁大舍喜他 <u>伶俐</u> (6)	18	識別	利口である、気が利く、頭が回る
我是 <u>領過</u> 他大教的(2)	18	識別	教わる
各自心裡 <u>明白</u> (4)	18	識別	わかる

物事一一交付 <u>明白</u> (8)	18 識別	明らか<補語用>
<u>明白</u> 也還讓他一大半便宜哩(5)	18 識別	明らか
脚色來歷 <u>明明白白</u> 的(8)	18 識別	明らか
<u>明知</u> 是取了金剛經進城(4)	18 識別	よくわかる、明白である
若是那等 <u>目不識丁</u> 的(1)	18 識別	文字を全く知らない
這只怕太 <u>難些</u> (5)	18 分別	難しい
<u>難怪</u> 他着惱(3)	18 分別	道理で<=怪道>
你兩個可也 <u>能</u> (5)	18 分別	<形>腕達者である、能力がある、腕が利く
<u>你見過甚麼來</u> (6)	18 分別	何も知らない(のね!)
真真 <u>奇怪</u> (6)	18 識別	不思議である
成了多大 <u>氣候</u> (6)	18 識別	<近>腕前、力量<cf:成氣候 43ものになる>
只是會念經,沒的 <u>不蹺蹊</u> (6)	18 識別	不思議である
<u>輕易</u> 依他(8)	▲18 分別	// 31 性急 安易に
近前便 <u>認</u> (8)	18 識別	わかる、認識する
既要 <u>認</u> 我為父(8)	▲18 分別	// 31 關係 関わりを結ぶ、関わりを認める
那鷹犬還如何 <u>認得</u> (1)	18 識別	わかる、認識する
我都是 <u>認識</u> 的人家(1)	18 識別	わかる、認識する
如探囊取物的 <u>容易</u> (5)	18 識別	簡単である、容易である
<u>儒學訓導</u> (5)	18 識別	儒学
一位戴方巾不 <u>識面</u> 的來(4)	18 識別	顔見知り
<u>熟識</u> 的奶奶家,都· · (8)	18 識別	よく知っている
晁秀才本來原也 <u>通得</u> (1)	18 識別	分かる
難道老爺都 <u>忘了</u> (7)	18 識別	忘れる
切莫 <u>忘記</u> 了(3)	18 識別	忘れる
<u>聞知</u> 娶你過門(6)	18 識別	聞いて知る
<u>瞎頭子</u> 丟了錢(6)	18 分別	むざむざ
計氏雖狀不 <u>賢惠</u> (3)	18 識別	夫人が賢い
頭一遭叫是初 <u>相識</u> (4)	18 識別	知り合い
俱是珍哥的舊日 <u>相知</u> (1)	18 識別	知り合う、よしみが深い、知り合い
俺那裡 <u>曉得</u> (2)	18 識別	知っている
還有甚麼難 <u>省</u> (4)	18 識別	分かる
我通不大 <u>省人事</u> 了(2)	18 識別	分かる、意識がはっきりする
大新正月裏, <u>省事</u> 着些(3)	18 識別	(事を)わきまえる、分かる
<u>學</u> 了些須拙筆(4)	18 識別	学ぶ
你這個 <u>一丁不識</u> 的佳公子(1)	18 識別	何も知らない



真個是 <u>一了百當</u> (5)	▲18 識別 // 90 終了 <成>万事ことが解決する
瞞得老 <u>渾帳</u> <u>一些不知</u> (6)	18 識別 全く気付かない
事倒也 <u>易</u> 做(5)	18 識別 容易に
如今皇上 <u>英明</u> (5)	18 識別 英明である
<u>知</u> 是正統爺御駕親征(8)	18 識別 分かる
我也 <u>不知道</u> 甚麼是爭鋒喫醋(2)	18 識別 知らない
<u>知不到</u> 什麼(6)	18 識別 知らない
俺公公 <u>知道</u> 倒是極喜歡的(2)	18 識別 知っている
怪道人說 <u>鄢</u> 嫂子 <u>知今道古</u> (2)	18 識別 博識だ、物知りだ
晁源坐着 <u>白話</u> (7)	19 言語 世間話をする
少要 <u>梆梆</u> (6)	19 言語 つべこべ言う
隨稟 <u>道</u> (5)	19 言語 申し上げる
<u>屎</u> 嘴聞得慌(8)	▲19 言語 // 53 担当 バカ口
<u>不</u> 叫做尋常(7)	19 言語 ..とは言えない
<u>不</u> 做聲(7)	19 言語 声を立てない、黙っている、口を開かない
背地 <u>插插</u> <=喳喳>(7)	19 言語 ぺちゃくちゃ言う、ささやく
俗長話短說 <u>真也罷</u> (6)	19 言語 <熟>はしょって話す、ズバリ言う
<u>唱</u> 了半個月,方纔唱完(5)	▲19 言語 歌う // 43 行為 芝居をする
只是 <u>唱得</u> 幾折好戲文(1)	19 言語 (歌劇で)歌う
<u>精</u> 扯淡(6)	19 言語 つべこべ言う、でたらめを言う
<u>不</u> 稱晚生不開口(4)	19 言語 口に出して言う
<u>稱</u> 呼梁相公、胡相公(8)	19 言語 呼ぶ、称する
向童定禹拱手 <u>稱謝</u> (4)	19 言語 礼を言う
你們沒的 <u>臭</u> 聲(3)	19 言語 変な事を言う
往裏 <u>傳</u> 了,方纔請進(2)	▲19 言語 伝える // 55 到達 伝達
當個丫頭小廝 <u>傳</u> 話兒罷了(6)	19 言語 話の取次
<u>傳</u> 說是我囑咐(8)	19 言語 伝える
猫都是這等 <u>打呼</u> 盧(6)	▲19 言語 // 87 自然 ゴロゴロやる
<u>打</u> 聽城裡鄉宦是誰(4)	19 言語 尋ねる、聞き出す
你 <u>道</u> 他眼裏那裏有你(1)	19 言語 言う
便也不好十分 <u>鬪</u> 牙拌齒(1)	19 言語 <成>冗談を言う
晁住整日 <u>鬪</u> 牙 <u>磕</u> 他嘴不了(6)	19 言語 <成>冗談を言う
一面 <u>鬪</u> 着嘴,一面· · (3)	19 言語 口論する
<u>咄</u> [duò]的一聲(3)	19 言語 チェット言って
我叫你 <u>多</u> 嘴(2)	▲19 言語 // 96 含有 余計な事に口を出す
珍哥 <u>分</u> 付<=吩咐>道(2)	19 言語 言い付ける

<u>風聲</u> 也就不好了(7)	19	言語	噂
我只 <u>風裏言風裏語</u> 的一像・・(7)	19	言語	<熟>噂に聞いている
各院 <u>復命</u> (5)	19	言語	復命する
<u>高聲朗誦</u> ,也都怕・・(3)	19	言語	高らかに朗々と言う
對你 <u>告訴</u> (3)	19	言語	言う
一面 <u>告訴說道</u> (3)	19	言語	言う
<u>瓜聲不拉氣</u> 的<=俚聲侷氣>(4)	19	言語	妙な発音・調子で話す事
不似昨日拿捏 <u>官腔</u> (4)	19	言語	横柄な役人口調
<u>號定字</u> (4)	19	言語	…という号です
<u>呼胡旦</u> 的字為君寵(8)	19	言語	…と呼ぶ
那猫・・ <u>呼盧呼盧</u> 的起來(6)	▲19	言語	87 自然 ゴロゴロと喉を鳴らす
不 <u>胡說</u> 了(2)	19	言語	うわごとを言う
<u>喚</u> 了數聲方纔醒轉來(4)	19	言語	呼ぶ
<u>喚</u> 作小青梅(8)	19	言語	呼ぶ
小人先來 <u>回話</u> (2)	▲19	言語	// 41 從順 報告する
楊古月 <u>回說</u> (3)	▲19	言語	// 41 從順 回答する
這們會 <u>說話</u> 的鸚哥(6)	19	言語	話ができる
<u>激聒</u> 那劉夫人(8)	19	言語	やかましく言う
這是故意 <u>假說</u> 要我生氣(2)	19	言語	嘘を言う
當面 <u>講過</u> 便宜行事(5)	19	言語	言っておく
<u>講說</u> 打圍的故事(2)	19	言語	話す
<u>叫</u> 宅裏再煖出一大瓶酒來(5)	19	言語	叫ぶ、呼ぶ、言う
<u>叫</u> 了他的家人(5)	19	言語	呼ぶ
差一點兒沒 <u>叫</u> 那狐狸精治造了個臭死(6)			(cf.<受身>…される)
晁大舍枕頭上 <u>叫道</u> (1)	19	言語	叫ぶ、呼ぶ
他 <u>叫喚</u> 在裏頭(7)	19	言語	<オウムが>鳴く、叫ぶ
<u>叫</u> 了幾聲 <u>苦</u> (4)	▲19	言語	// 11 苦惱 苦しみを訴える、苦しくて大声を出す
托名 <u>叫</u> 是仙姑(1)	19	言語	…と称する
名字 <u>叫做</u> 晁思孝(1)	19	言語	…と言う、…と名乗る
一連磕了八個頭, <u>口稱</u> (5)	19	言語	口では言う、…と称する
那符 <u>口吐</u> 人言(6)	▲19	言語	// 57 出 口をきく、口に出す
向禹明吾 <u>扣問</u> <=叩問>(4)	19	言語	(目上に)尋ねる、質問する
<u>埋怨</u> 兒子 <u>不</u> 了(6)	19	言語	ずっと不平を言う、不満を言い続ける
怕你心焦,我 <u>沒</u> 做聲(3)	19	言語	声を立てない

姓 <u>晁</u> 名源(1)	19	言語	名を・・と言う
<u>能言會道</u> ,下在海會白衣庵裡(8)	19	言語	口がうまい
<u>你一言我一語</u> (8)	19	言語	あちこちから口を出す、とりどりに
投充來 <u>清唱</u> 龍陽(1)	19	言語	歌う
沉鄧鄧的 <u>嚷</u> (8) 報喜人 <u>嚷</u> 街坊(1)	19	言語	喚く、大声を出す
說得真真的與 <u>人言</u> 無異(6)	19	言語	人が喋る (のと変わらない)
<u>商量</u> 急事(8)	19	言語	相談する
與幕賓邢泉門 <u>商議</u> (7)	19	言語	相談する
口中不住 <u>呻吟</u> (2)	19	言語	うめく
正要數 <u>東瓜</u> ,道 <u>茄子</u> (2)	19	言語	<諺>あれこれ喋る
拿官腔說了兩句淡話(1)	19	言語	話す
叫人說不出口(6)	▲19	言語	// 57 出 口には出しにくい
半日說不出話來(7)	▲19	言語	// 57 出 口もきけない
話也說不俐亮(7)	19	言語	言っているのが分からない
說不了家長裡短,又說・・(6)	19	言語	話が尽きない
只是忘八作勢 <u>說道</u> (1)	19	言語	・・と言う
說定待計氏稍有起色(6)	19	言語	話を決める、断言する
站住說話說個不了(4)	19	言語	話が終わらない、話が尽きない
站住說話(4)	19	言語	話す、喋る
說及華亭縣的事體(8)	19	言語	・・に話が及ぶ
說其所以(8)	19	言語	事の次第を言う
說起昨日怎樣同去打圍(2)	19	言語	話し始める
可也合人說聲(3)	19	言語	しゃべる
你說實要多少銀(6)	19	言語	正直に言う
說着閑話(5)	19	言語	よもやま話をする
一邊說笑,一邊同到・・(4)	19	言語	笑いながら話す
你且慢說嘴(3)	19	言語	大ぼらを吹く
俗語說得好(8)	19	言語	諺
人知道是我 <u>訴冤</u> (3)	19	言語	無実を訴える
提着・・的小名(2)	19	言語	話す、話題にする、取り上げる
說過,也再不 <u>提起</u> 了(5)	19	言語	(話を)持ち出す
各處體問(8)	19	言語	尋ねる
把門的也不 <u>通報</u> (5)	19	言語	知らせる、通報する
推說甚麼不去(7)	19	言語	言い逃れをする
托名叫是仙姑(1)	19	言語	他人の名をかたる
悄悄的問他(7)	19	言語	尋ねる

不必細說(4)	19	言語	詳しく述べる
瞎話。成不的(6)	19	言語	出鱈目を言う
看門人與他閑白話(8)	19	言語	四方山話をする
說些閑話(8)	19	言語	世間話をする
梁胡兩個與晁老閑敘(8)	19	言語	世間話をする
特來有事相稟(7)	▲19	言語	// 41 従順 申し上げる
大家笑說了一回(2)	19	言語	笑いながら話す
二人方跪下謝了(5)	▲19	言語	礼を言う // 05 感情 感謝する
姓晁, 名源(1)	19	言語	…という姓である
敘了句把街坊套話(2)	19	言語	話をする
久沒敘話了(4)	19	言語	話をする
敘說了幾句節間的閑話(3)	19	言語	話をする
大家敘了揖(2)	19	言語	(声に出して)挨拶をする
不必絮煩細說(3)	19	言語	細かい事をくどくど言う
緒緒叨叨<=絮絮叨叨>的嚷罵(8)	19	言語	口煩い、話がくどい
只見外面一聲喧嚷(6)	19	言語	大声で言いふらす
對晁大舍學了(3)	▲19	言語	// 41 従順 そのまま伝える、真似する
將··的話一五一十學與珍哥(2)	▲19	言語	// 41 従順 話す、伝える
尋趣了幾句(8)	▲19	言語	// 39 叱責 文句を言う
難將苦口向人言(1)	19	言語	言う
笑了笑,沒言語(3)	19	言語	ことばを話す
大家議論(7)	19	言語	議論する
油嘴滑舌騙得爹娘允了(6)	19	言語	<成>口がよく回る
晁夫人甚是怨恨(6)	19	言語	不平、不満を言う
又不住的說謔話(2)	▲19	言語	// 02 睡眠 うわごと、戯言
如今老爺主持了二數(5)	19	言語	主張する
囑付<=咐>的話一一說了(8)	19	言語	言い付ける
字舉門(1)	19	言語	字名を…と言う
向李成名無可不可的作謝(5)	19	言語	礼を言う
晁大舍也便不能作聲(2)	19	言語	声を立てる
珍哥忍痛不敢做聲(3)	19	言語	声を立てる
嚇得面無人色, 做聲不出(3)	19	言語	声を立てられない
包他走起(2)	20	約束	保証する
包得老爺如意(5)	20	約束	保証する、請け合う
那裡肯打脫(6)	20	交渉	取り消す、契約解除する
將那三兩定錢就算了這幾日(5)	20	約束	予約金

不知 <u>定</u> 下了甚麼計策(2)	20	約束	とり決めておく、決定しておく
家人落背弓,陪常 <u>講</u> 謝禮(1)	20	交渉	(礼金を) 掛けあう
<u>講</u> 價錢(6)	20	交渉	値段を掛けあう
與人 <u>講</u> 做了二千銀子(5)	20	交渉	話をつける<角川無し>
<u>立</u> 了 <u>文</u> 約(4)	20	交渉	契約を結ぶ
與 <u>幕</u> 賓邢臬門商議(7)	▲20	交渉	// 43 行為 顧問、参謀
<u>情</u> 管你的法靈了(4)	20	保証	必ず
獨讓與晁大舍收下(1)	20	約束	譲る
珍哥不肯遜[xùn] <u>讓</u> (1)	20	交渉	謙虚に譲る
即 <u>約</u> 了附近同去···的朋友(2)	20	約束	約束する
<u>約定</u> 十二月十六日吉時起身(5)	▲20	約束	// 17 決定 話が決まる
<u>只管</u> 如意罷了(5)	▲20	約束	きっと // 44 配慮 専ら、ひたすら
叫書辦預備 <u>拜帖</u> (3)	▲21	広報	// 22 表記 (旧時訪問する時の)赤い 名刺
<u>報</u> 到家中(1)	21	広報	知らせる
見了 <u>報</u> 喜眾人(6)	21	広報	吉報を知らせる
<u>操</u> 練團營人馬(7)	21	教示	訓練する
<u>發</u> 落出來(1)	21	広報	発表する
我還敢 <u>管</u> 他哩(2) <u>管</u> 他的飯食(5)	21	教示	管理する、しつける、取り締まる
這就俺公公 <u>管</u> 教兒的話了(2)	21	教示	しつける、取り締まる
有好音來報老爺(5)	21	教示	良い知らせ
又把眼 <u>擠</u> 了兩擠(2)	21	広報	目配せする
望着我 <u>擠</u> 着眼(7)	21	広報	目配せする
望着他 <u>擠</u> 眼扭嘴(8)	21	教示	目配せ・口をねじ曲げ合図する
<u>講</u> 正心誠意, <u>說</u> 王道迂闊的話(8)	21	教示	説く
<u>交付</u> 家人剝了(2) <u>交付</u> 看家的(6)	21	教示	言い付ける(任す、引き渡す)
<u>教</u> 鸚哥兒的教師(6)	21	教示	教える
今纔 <u>教</u> 成,還未撰得···(1)	21	教示	教える (のが完了する)
六個月就要 <u>教</u> 會一群(6)	21	教示	教えを修得する
這不過 <u>教</u> 道的工夫錢(6)	21	教示	教え込む
進內 <u>教</u> 習宮女(5)	21	教示	教える
<u>教</u> 鸚哥兒的教師(6)	21	教示	教練
央 <u>教</u> 官領了送去(6)	21	教示	(儒学の)教官
<u>揭</u> 了曉,不得中(1)	21	広報	知らせる、発表する
<u>眉</u> 來眼去(8)	▲21	教示	// 30 仕草 色目を使う、秋波を送る、眉を動かす

持了王振的名帖(5)	21 教示 // 22 表記 名刺
若肯把他陶鎔訓誨(1)	21 教示 薰陶
使人預先調習(1)	21 教示 調教させる、調教する
胡旦也不等人通報(5)	21 広報 知らせる、通報する
禁闖近臣的圖書(5)	21 教示 印鑑
托夢叫我往北去(6)	21 教示 夢で知らせる、夢枕に立つ
晁書二人得了喜信(6)	21 教示 良い知らせ
方顯手段(4)	21 表示 現す、腕前を見せる、手腕を見せる
原任文安縣儒學訓導(5)	21 教化 教え諭す、訓導(する)
也好叫他揚名(4)	21 教示 名を馳せる、名を揚げる
指着一隻金絲哈巴(3)	21 教示 指さす
你也指出來(8)	▲21 教示 // 57 出 指摘する、口に出す
下註計一百條(4)	21 教示 注を入れる
叫書辦預備拜帖(3)	▲22 表記 // 21 広報 (旧時訪問する時の)赤い 名刺
見邢臬門不做稟稿(7)	22 表記 上申書
做了個不疼不痒的稟帖(7)	22 表記 上申書
要他做稟帖稿(7)	22 表記 上申書
部裡遞了援例呈子(6)	22 表記 文書
畫幾筆柳樹合杏花(4)	22 表記 絵を書く
記了分明(3)	22 表記 書いてある
取出·家書(5)	22 表記 家からの手紙
老爺的內書房孫商(7)	22 表記 内書記
上了卯(1)	22 筆記 登録する、登記する
晁知縣看了書(5)	22 表記 紹介状、手紙、書付
方好斟酌數目(5)	22 表記 数字
也問我要帖兒(5)	22 表記 書付、名刺
遞他門下晚生帖子(5)	22 表記 書付、名刺
臬老脫一個稿(7)	22 表記 脱稿する、原稿を作る
要起文書(6)	22 表記 文書
寫了一封書與大舍(6)	22 表記 書く
我那一個寫不出他的行樂圖來(1)	22 表記 書きだせない
炤依藥袋上寫道煎服(2)	22 表記 書く
丘乙己還自己寫得出來(1)	▲22 表記 // 57 出 書きだせる
炤依藥袋上寫明煎服(2)	22 表記 はっきりと書く
印的梵字金剛經(3)	22 表記 印刷する

粧起・・兩夫子的 <u>嘴臉</u> 來(8)	22 表記	顔付き、顔
這猫逼<=避> <u>鼠</u> 是不必說的(6)	23 姿勢	ネズミよけになる
或可 <u>避</u> 得災過(3)	23 姿勢	避ける、逃げる
這猫常能 <u>避鼠</u> (6)	23 姿勢	ネズミよけになる
珍哥 <u>避入</u> 東間(3)	23 姿勢	(東間に) 避ける、逃げる
因在大門下 <u>避雨</u> (8)	23 姿勢	雨宿りする
叫到 <u>側邊</u> 一座僻靜書房內(5)	23 姿勢	<方>傍ら、そば
<u>朝着</u> 那本經睡着・・(6)	23 姿勢	・・の方に向かって
<u>垂了</u> 頭坐在椅上(2)	23 姿勢	うなだれる、頭を下げる
宋曹二人的罪不敢 <u>辭</u> (8)	23 姿勢	(罪を) 逃れる、避ける
屁股也 <u>弔不轉</u> 的(6)	23 姿勢	向きを変えられない
<u>對了</u> 晁大舍的耳朵(3)	23 姿勢	向かう、向かって
見在翰林院 <u>對門</u> 子住(6)	23 姿勢	向かい
自己 <u>掇轉</u> 椅子(3)	23 姿勢	持って椅子の向きを変える
往 <u>後頭</u> 亭子看去(7)	23 姿勢	後ろ、奥
<u>回避</u> ・ <u>迴避</u> 大官人了(6)	23 姿勢	避ける、回避する
<u>回頭</u> 顧盼(1)	23 姿勢	ふり返る
那人 <u>臨</u> 去,還臥在地下(6)	23 姿勢	・・に臨んで
昨日翰林院 <u>門口</u> 一家子的・・(6)	▲23 姿勢 // 26 通行	玄関
<u>門上</u> 有許多伺候(5)	23 姿勢	玄関の辺り
走到徐翰林 <u>門首</u> (8)	23 姿勢	門前
<u>門臺</u> 下伺候(5)	23 姿勢	玄関かまち
<u>免</u> 他拷責(8)	23 姿勢	免れる、免ずる
這是 <u>免</u> 不得的(2)	23 姿勢	免れない、仕方が無い
<u>免得</u> 向人打聽(8)	23 姿勢	免れる、手間が省ける、免ぜられる
青梅的 <u>面</u> 漸覺不黃了(8)	23 姿勢	顔(の色)
<u>上面</u> 貼着一副硃砂・・(5)	23 姿勢	上、上の方
那書房內也 <u>說</u> 不了許多燈火齊整(5)	23 姿勢	避けられない(=免不了)
<u>脫</u> 不了禽獸之倫(1)	23 姿勢	<動詞>免れない
<u>望着</u> 我擠眼(7)	23 姿勢	・・に向かって
也還 <u>問</u> 人揭借一半添上(6)	23 姿勢	・・から(=向)
<u>下邊</u> 惡路也都通行(5)	23 姿勢	下、下の方
<u>下面</u> 也都怨他不動(5)	23 姿勢	下、下の方
<u>仰起</u> 頭看了看天(4)	23 姿勢	仰向く
<u>右邊</u> 門扇偏貼着・・(5)	23 姿勢	右側
<u>轉</u> 了轉面(3)	23 姿勢	(顔の) 向きを変える

將帖用眼 <u>轉</u> 一轉(4)	23 姿勢	少し目をくれた
乘那丫頭 <u>轉</u> 了轉面(3)	23 姿勢	(顔の)向きを変える
住這等 <u>大房</u> (5)	24 起居	(このような)大邸宅(に暮らす)
喜得那人 <u>掇登</u> (8)	24 起居	腰掛け
自己孤伶仃 <u>獨處</u> (3)	24 起居	独居する
一所半大不小的 <u>房子</u> (6)	24 起居	家
我剛纔 <u>跪倒</u> ,正待 <u>磕</u> 下頭去(3)	24 起居	跪く
一膝 <u>跪下</u> (3)	24 起居	跪く
往 <u>後頭</u> 亭子看去(6)	24 起居	(家の)後ろ、奥
在刑部裏面 <u>靜坐</u> (7)	24 起居	静かに座る
另在一院 <u>居住</u> (2)	24 起居	住む
胡旦 <u>立住</u> 讓道(5)	24 起居	立ち止まる、たつたま
却閑在家中 <u>悶</u> [mèn] <u>坐</u> (2)	24 起居	退屈する(退屈して座っている)
<u>內書房</u> 裏相待(5)	24 起居	奥の書齋
還 <u>臥</u> 在地下與那猫 <u>磕</u> 了・・(6)	24 起居	這い蹲る、跪く
蘇劉二人 <u>爬倒地</u> (5)	24 起居	地面に伏せる<角川無し>
<u>屁股</u> 也弔不轉的(6)	24 起居	尻
蕭北川 <u>起辭</u> ,說道(4)	24 起居	立ち上って別れを告げる
你且 <u>起去</u> ,還叫人去(2)	▲24 起居	起きてみる // 02 睡眠
自先 <u>起身</u> (1) 到起鼓以後纔 <u>起身</u> (4)	24 起居	立ち上がる、腰を上げる
漸漸眾客齊集 <u>攏上</u> 了 <u>座</u> (1)	24 起居	座に就く
一座僻靜 <u>書房</u> 內(5)	24 起居	書齋
走到徐翰林 <u>私宅</u> 門首(8)	24 起居	自宅、私邸
兩邊蘇坐<=敘坐,散坐,隨意坐下>了(4)	24 起居	寛いで座る
直條條的 <u>儻下</u> <=躺下>(3)	24 起居	横になる
看着人掃 <u>廳房</u> (5)	24 起居	広間
回到 <u>廝上</u> 坐下(4)	24 起居	広間
往 <u>後頭</u> 亭子看去(6)	24 起居	あずまや
不與他大娘子 <u>同居</u> (2)	24 起居	同居する
因我說你小產 <u>未起</u> (6)	24 起居	起き上がっていない
走到晁老 <u>臥房</u> 床沿上坐了(8)	24 起居	寢室
跑回 <u>下處</u> (7)	24 起居	寓居
你二人 <u>閑坐着</u> (5)	24 起居	寛いでいる、ゆったり腰掛けている、 暇つぶしをしている、何もせず座っている
我 <u>在這</u> 地獄裏(3)	24 起居	・・で
只是爹娘見 <u>在</u> 華亭(3)	24 起居	<動詞>居る



還要 <u>宅上</u> 逐日包認(5)	24	起居	<書>お宅、貴家
回到京中 <u>宅子</u> (6) <u>宅子</u> (2)	24	起居	屋敷
郎中 <u>站</u> 了,扯出青梅的手來(8)	24	起居	立つ(立ったまま)
必定釘子釘住的一般 <u>站得住</u> (3)	24	起居	じっと立ったまま
<u>站定</u> 敘了句(2)	▲24	起居	// 48 停滞 立ち止まる、じっと立つ
遠遠 <u>站起</u> (5)	24	起居	立つ、立っている
<u>站住了</u> (4) <u>站住</u> 說話(4) <u>站住</u> 了脚(8)	24	起居	立ち止まる
久 <u>住</u> 有一個年久的牝狐(1)	24	起居	住む
俗這些人去還 <u>住不了</u> 的房子(7)	24	起居	住めない
怎麼 <u>住的</u> 開(7)	24	起居	住める
<u>住慣</u> 了寬房大舍(6)	▲24	起居	// 92 適合 住み慣れる
這就是他兩個的 <u>住宅</u> 麼(2)	24	起居	屋敷
略 <u>坐</u> 了一會(1)	24	起居	腰掛ける
都在床前 <u>坐定</u> 了(2)	24	起居	座る
收拾了 <u>坐起</u> (3)	24	起居	居間
不許在此 <u>坐臥</u> (5)	24	起居	座ったり寝そべったりする
一把椅朝北 <u>坐下</u> (1)	24	起居	腰掛ける
頭髮根根 <u>直豎</u> (2)	24	起居	(髮の毛を) 逆立てる、毛髪が逆立つ
這們 <u>促織</u> 匣內(6)	25	歩行	コオロギ
<u>大落落</u> [dàlālā]走進去了(5)	25	歩行	ずかずかと(入って行く)
拿着貓 <u>飛跑</u> 的(7)	25	歩行	駆ける
不肯叫正統爺 <u>急走</u> (8)	25	歩行	疾走する、急走する
一個丫頭慌張張 <u>跑來</u> (7)	25	歩行	駆けて来る
外邊 <u>閒走</u> (5)	25	歩行	ぶらぶらする、散歩する
不緊不慢的 <u>行走</u> (1)	25	歩行	歩く
<u>走了</u> 二十八個日頭(5)	25	歩行	歩いて(・・の時間)かかる
<u>走不上</u> 兩三步(1)	25	歩行	歩かないうちに
珍哥雖不曾 <u>走起</u> (4)	25	歩行	歩けるようになる
等到元旦出去 <u>拜節</u> (2)	26	通行	年始回りをする、節句のお祝いを述べる
晁大舍只是不敢送出 <u>大門</u> (6)	26	通行	表門
這是閉住 <u>惡路</u> 了(4)	26	通行	大小便の排泄される道、陰部
又到金箔 <u>衝衝</u> (6)	26	通行	横町、小路
仍 <u>經</u> 窗前走過(3)	26	通行	・・・を通過する、・・・を経る
由東裡間窗下 <u>經過</u> (2)	26	通行	通る、通り過ぎる
翰林院 <u>門口</u> (6)	▲26	通行	// 23 姿勢 玄関

或是 <u>起早</u> (6)	▲26 通行 // 27 往来 // 62 移動 陸路に行く
因王振得了 <u>時勢</u> (5)	26 通行 時勢
<u>疏通</u> 一疏通(8)	26 通過 通す
下邊惡路也都 <u>通行</u> (5)	26 通行 通る
<u>通着</u> 河路(5)	26 通行 (運河が)通る
鷹犬四面 <u>旋繞</u> (1)	26 通行 駆け巡る
他那 <u>一路上</u> 的人恐怕・・(6)	26 通行 路上の(人)
況我的 <u>運氣</u> 好的時節(4)	26 通過 運氣、運勢
仍經窗前 <u>走過</u> (3)	26 通行 歩きながら過ぎる、通りかかる
<u>走過來</u> 評處(5)	26 通行 歩いてくる、通りかかる
捧着一個拜匣 <u>走將過來</u> (4)	26 通行 歩いてくる、通りかかる
或是 <u>坐舡</u> (6)	▲26 通行 // 27 往来 // 62 移動 水路に行く

## [注]

- 1) 香坂順一、宮田一郎編『兒女英雄傳語彙索引』(明清文学言語研究会,1970 年刊)、香坂順一編『水滸全傳語彙索引』(明清文学言語研究会,1973 年刊)、宮田一郎編『紅樓夢語彙索引』(采華書林, 1973 年刊)など。
- 2) 植田均『拍案驚奇語彙調査』(『奈良産業大学紀要』第 9 集,1993 年刊)、『醒世姻縁傳語彙索引』(私家版, 2000 年刊)
- 3) 太田辰夫 1963 「<<兒女英雄傳>>語彙調査」(『清末文学言語研究会会報』第 3 号) は、単なる語彙索引ではなく、語彙の分類・整理を試行されている。拙稿は、太田 1963 を発展させた形として構想している。
- 4) 大阪市立大学岩本真理教授からは近刊『日本古典対照分類語彙表』(笠間書院, 2013 年刊予定) の手法が参考になるのではないかとご教示戴いた。
- 5) 柴田武、大野進編『類語大辞典』, 講談社, 2002 年第 1 刷刊。
- 6) 用例の漢字は、原文通り。例えば“耳躲”は、本来“耳朵”であるがそのままにしてある。
- 7) <角川無し>とは、角川書店 1994 年刊行の『中国語大辞典』に収録されていない事を指す。